

Imaging Team

掲載内容

営業情報

- META-MOBILEMONITOR-10 を販売開始
- コヒレント社製 OBIS レーザ及び、Galaxy レーザファイバモジュールを MetaMorph で制御可能になりました
- 弊社在庫品を販売いたします

技術・サポート情報

- 羊土社様より MetaMorph を取り上げた“バイオ画像解析 手とり足とりガイド(青木一洋先生、小林徹也先生/編)”が発刊されました

はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Region Tools

営業情報

META-MOBILEMONITOR-10 の販売を開始しました

DOC Cam シリーズカメラや VisualixPRO2 カメラを実装し顕微鏡の C マウントを利用して取り付け可能な HDMI 対応モニターです。DOC Cam 使用時には、別売の META-MINI-PC と接続し、MVDOC ソフトウェアの操作はタッチスクリーンを用いてマウスレスで行えます。

モニターは首ふり(前後左右)上下位置の変更、取り外しも行え、大変便利で USB 電源のみで使用できます。

定価は 7 万円(税別)また、META-MINI-PC 本体の定価は 10 万円(税別)で、設置に便利なモニターマウントは定価 8 万円(税別)です

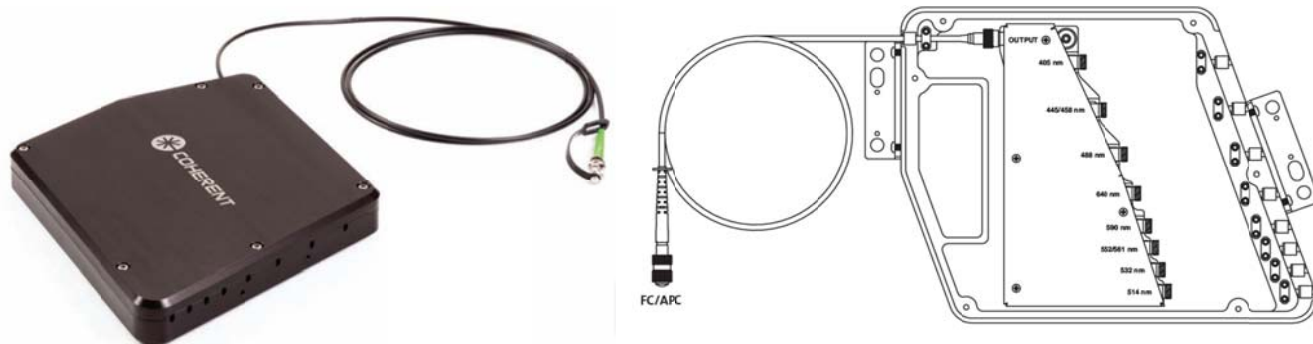


コヒレント社製 OBIS レーザ及び、Galaxy レーザファイバモジュールを MetaMorph で制御可能 が可能になりました

TIRFM や X-Light、CSU などディスク共焦点ユニットをお使いのユーザー様に朗報です。
コヒレント社製半導体ソリッドレーザーOBIS シリーズを 5 波長もしくは 6 波長搭載可能な OBIS
LX/LS Laser Box を MetaMorph の最新ドライバにより、個々のレーザの ON/OFF および輝度調
整が可能になりました。



制御は USB ケーブル 1 本で PC と接続するだけの非常に簡単な接続方式となります。
また、これらの複数波長を集約する Galaxy レーザファイバモジュールと併用することで、従来の
レーザコンバイナとして使用することが可能です



このファイバモジュールは405nm, 445nm or 458nm, 488nm, 514nm, 532nm, 552nm or 561nm,
590nm, 640nmの最大8波長のレーザを取りまとめ、1本のファイバからの出力を可能とします。
従いまして、LX/LS Laser Boxと本製品との組み合わせでMetaMorphから最大8波長のレーザコ
ンバイナとして使用することが可能になります。
また、このファイバモジュールは電氣的、機械的な駆動部分が存在しないため、メンテナンスフリ
ーを実現しています。

詳細は当社担当までお問い合わせください



弊社在庫品を販売いたします

弊社所有の在庫品をお得な価格で販売させていただきます。

商品リストは以下の通りとなります。価格につきましては当社担当までお問い合わせください

CCD カメラ

QImaging 社製モノクロ CCD カメラ Retiga SRV ×2 台

QImaging 社製モノクロ CCD カメラ Retiga EXi ×2 台

QImaging 社製モノクロ CCD カメラ Retiga 6000 ×1 台

QImaging 社製モノクロ CCD カメラ EXi Blue ×1 台

Photometrics 社製モノクロ CCD カメラ CoolSNAP EZ ×1 台

Photometrics 社製モノクロ CCD カメラ Evolve Delta ×1 台

Photometrics 社製モノクロ CCD カメラ Cool MYO ×1 台

MDJ オリジナル CCD カメラ DOC Cam-HR(600 万画素モノクロ、Firewire 仕様) ×2 台

LED 光源

白色 LED 光源 pE300-WHITE ×1 台

2 波長 LED 光源 pE100(480/530) ×1 台

1 波長ファイバカップリング LED 光源 pE100F ×1 台

全て先着順となりますので、売り切れの際はご了承ください。

技術・サポート情報

羊土社様より MetaMorph を取り上げた“バイオ画像解析 手とり足とりガイド(青木一洋先生、小林徹也先生/編)”が発刊されました

羊土社様より、MetaMorph を始めとする画像解析のガイドブックがリリースされました。



バイオ画像解析 手とり足とりガイド

バイオイメージングデータを定量して生命の形態や動態を理解する！

小林徹也, 青木一洋 / 編

定価 5,000円 + 税 2014年11月 発行 A4変型判 221ページ ISBN 978-4-7581-0815-7

<https://www.yodosha.co.jp/jikkenigaku/book/9784758108157/>

実際に現場で画像解析を手掛けておられる先生方が分かりやすく、デジタル画像の基礎から解析までを解説されています。

これから MetaMorph で画像解析を行われる方も、現在すでに解析されている方にも非常に有用なガイドブックとなっております。

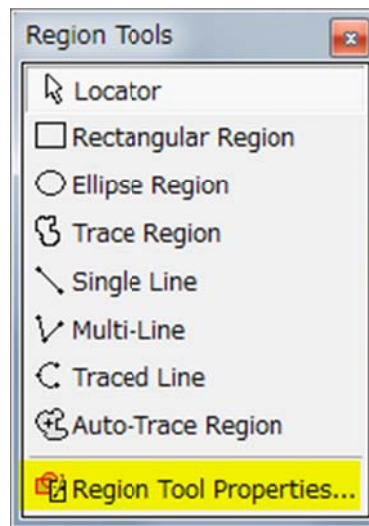
はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

● Region Tools

Region (ROI)を作成、編集、削除する

Region Measurements で Region を画像上に複数作成されて計測されているかと思いますが、その Region 作成について記載します

ツールバー上に **Region Tools** というものがあります

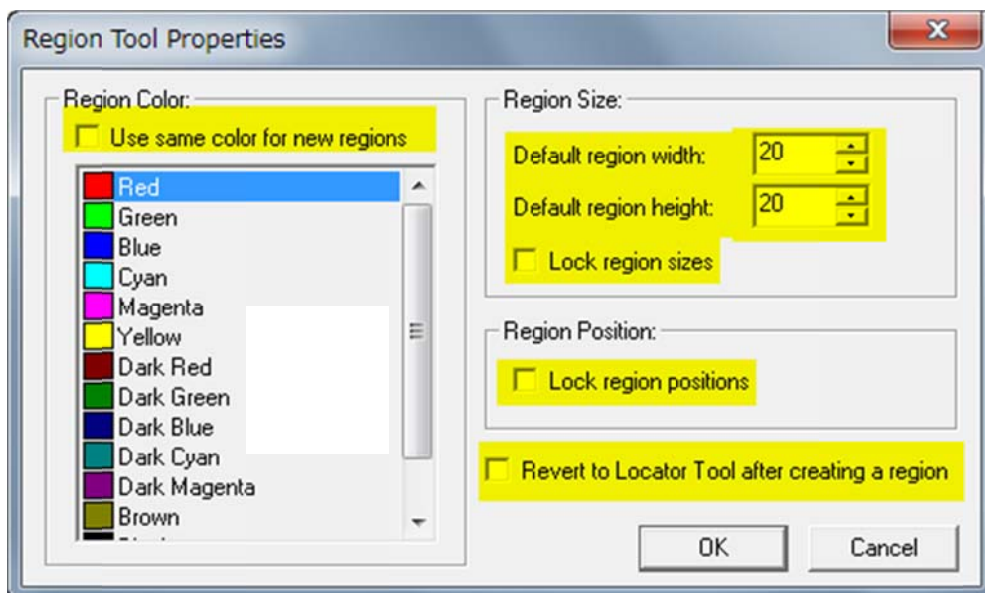


または

になります

この中に **Region Tool Properties** というものがあります

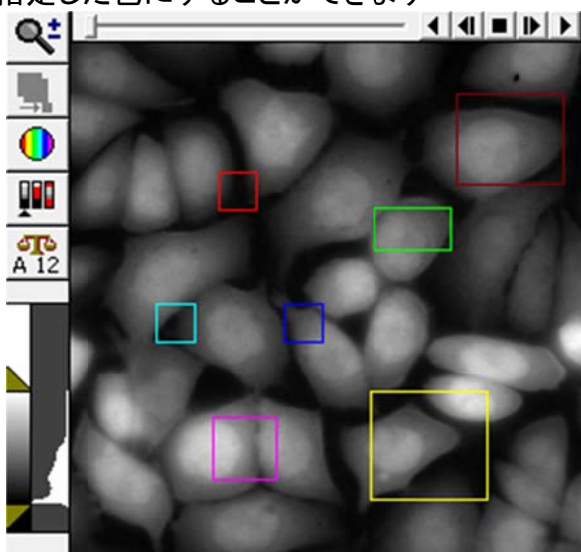
この Region Tool Properties をクリックしますと、



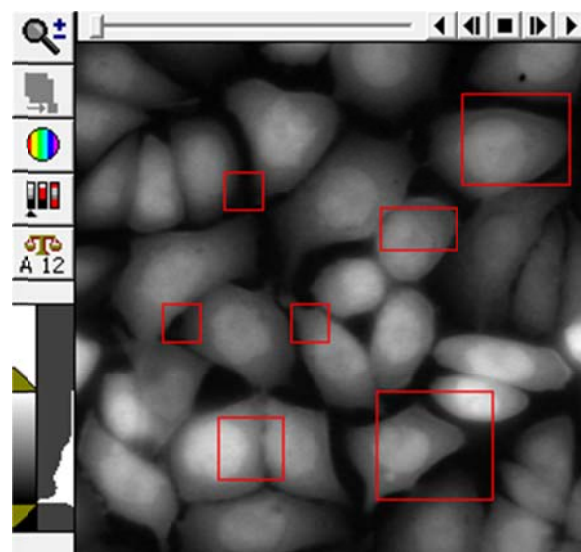
が表示され、Region の色、大きさ、位置やサイズの固定などの設定を行うことができます

Region Color

通常、画像上に複数の Region を作成しますと、色が Red, Green, Blue,...と変わっていきますが、**Use same color for new regions** にチェックを入れますと、設定後に作成する Region の色を指定した色にすることができます



Use same color for new regions チェックなし



Use same color for new regions チェックあり

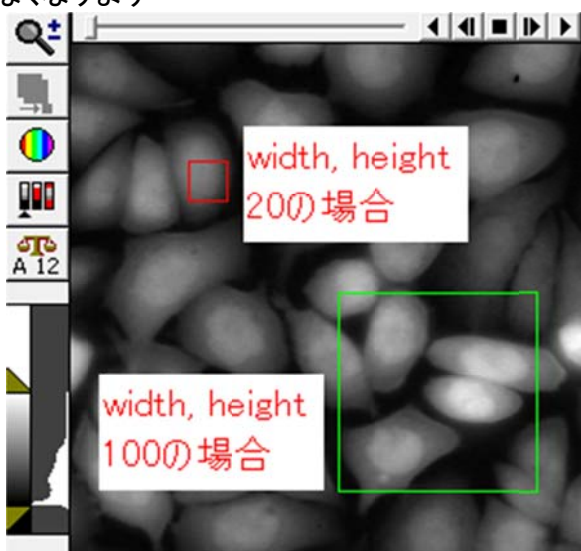
Region Size

Rectangular Region, Ellipse Region 等を選択し、画像上でクリックしますと、指定されたサイズの Region が作成されます

クリックした時の初期サイズを指定するのが、**Default region width** と **Default region height** になります

クリックしますと、ここで入力したサイズ(ピクセル)の Region が作成されます

Lock region sizes にチェックを入れますと、作成された Region のサイズを変更することができなくなります



Region Position

Lock region positions にチェックを入れますと、作成された Region を移動させることができなくなり、位置を固定することができます

Revert to Locator Tool after creating a region

ここにチェックが入っていない場合、Rectangular Region, Ellipse Region 等をクリックして画像上でクリックして Region を作成し、その後画像上でクリックしますと Region を作成するようになります

繰り返し Region を作成する場合、この方法で良いかと思いますが、Region 作成後、すぐに位置・サイズ変更を行いたい場合、他の Region の調整を行いたい場合、都度 Locator をクリックする必要があります

Revert to Locator Tool after creating a region にチェックを入れますと、Region を作成した後に Locator をクリックした時と同じ状態になり、他の Region 調整などを行うことができます



Revert to Locator Tool after creating a region チェックあり



Revert to Locator Tool after creating a region チェックなし

以上